

事業報告書

令和3年度（2021年度）

【令和3年4月1日から令和4年3月31日まで】

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

法人概要

【法人の沿革】

1977年4月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設 理事長 安家茂美 「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園（S52.3.31認可）園長 安家茂美
1987年4月	「あけぼのベビーセンター」上野西に開園（S62.3.26認可）園長 安家周子
1988年12月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周子就任
2000年6月	豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曾根東町に開園 園長 安家周子
2001年4月	「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更（H13.3.30認可）
2002年4月	「あけぼのドロップス」上新田に開園（H14.3.29認可）園長 安家尚子
2005年3月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周一就任
2005年4月	「あけぼのぼんぼこ保育園」西緑丘に開園（H17.3.31認可）園長 安家比呂志
2012年3月	「豊中あけぼの保育園」城山町に移転
2015年2月	「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転
2018年4月	「あけぼのベビーセンター」を「あけぼの風の森保育園」へ名称変更
2019年4月	「豊中あけぼの保育園」を幼保連携型認定こども園「豊中あけぼのこども園」へ認可変更 「あけぼのドロップス」を幼保連携型認定こども園「認定こども園あけぼのドロップス」へ認可変更 「あけぼのぼんぼこ保育園」を幼保連携型認定こども園「あけぼのぼんぼこども園」へ認可変更

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと 今だからできること
しっかり看つめること ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと 思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること 大人も育つこと
私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる
すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿 「よくみる よくきく よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

- ①こどもの安全が最優先されているか
- ②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
- ③保護者に対して共感的態度で接しているか
- ④自分が人間として自立しているか
- ⑤自分が保育者として向上心があるか
- ⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
- ⑦「もったいない」を大切にしよう
- ⑧自分を大切にし、周りの人を大切にする（No2の役割とチームワーク）

【役員・評議員の状況】

理事 6 名・監事 2 名 任期：令和 3 年 6 月 29 日～令和 4 年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	理事	安家 周一	あけぼの幼稚園 園長
2	理事	安家 比呂志	社会福祉法人あけぼの会 理事長
3	理事	安達 譲	学校法人ひじり学園 理事長
4	理事	鎌倉 利光	桧垣・鎌倉・寺廣法律事務所 辯護士
5	理事	中橋 美穂	大阪教育大学 教授
6	理事	水谷 豊三	学校法人成城学園 理事長
1	監事	上保 小太郎	元法人事務長
2	監事	河端 秀雄	社会福祉法人 豊中親和会 理事長

評議員 7 名 任期：令和 3 年 6 月 29 日～令和 6 年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	評議員	片山 雄基	社会福祉法人種の会 理事長
2	評議員	北島 孝通	庄内こどもの杜幼稚園 施設長
3	評議員	辰巳 正信	学校法人たつみ学園 理事長
4	評議員	得 喜成	社会福祉法人愛成会 理事長
5	評議員	秦 賢志	学校法人小寺学園 理事長
6	評議員	濱名 浩	学校法人あけぼの学院 理事長
7	評議員	村野 光子	アトリオみなみおかこども園 園長

【法人全体の計画】 理事長：安家 周一

突然のロシアによるウクライナ侵攻という事態に世界が巻き込まれ、燃料の高騰や農産物の輸入不足、半導体の品薄など、社会機能の維持が難しい状況が顕在化した年度となった。また、光熱水費の高騰もあり、全体の経費を圧迫している。今年度も引き続き COVIT.19 はウィルスの型を変化させながら世界に蔓延し、予防による教育環境へしわ寄せが続いた 1 年となった。

[事業計画に挙げた項目]

- 1) あけぼのの理念を共有し、一人一人の子どもの善さと可能性を追求する豊かな保育活動
- 2) 保護者の賛同を得ながら「子ども中心主義」を極める
- 3) 持続可能な社会の実現のために合理的な運営を心掛け、省力化に努め、子どもや保護者とともに資源の保全やエコを心掛ける
- 4) 安全な食材による食事の提供をさらに努力する
- 5) 教職員を大切な財産と考え、リクルートによる有望な人財を求め、離職をできる限り避け、深い学びの集団づくりを実現する
- 6) 成果が見えにくい乳幼児教育の成果を、保護者の理解が促進されるよう「成長の見える化」に努める
- 7) 長期・中期・短期の運営計画を立て、修繕を合理的に実行し、清潔で快適な施設を実現する

8) 計画的な財政運用を重視し、年間の収入に対して支出を抑制的にし、積み立てを実行する

年度当初に計画した上記8項目の中で、1)～3)の教育理念の共有や、子ども中心主義における保育の実施は、教職員の熱い思いによって充実した環境が維持できた。4)に掲げた安全な食材による食事の提供も、事務職員による煩雑な発注業務が維持され、子どもたちの健康維持に貢献することができた。加えて、職員への昼食提供も行い、教職員の健康維持の一助となった。

5)に掲げた、求人活動の困難さであるが、他法人では紹介会社を高額で利用するなど聞き及んでいるが、あけぼのは何とか希望数を自力で確保できており、これについても、各園の責任者が努力した成果が出ている。これからも、結婚、出産、育休取得者が引き続き予想され、引き続き求職活動に努力する必要がある。このことはリクルートだけの問題ではなく、充実した保育活動や保育環境、近隣地域のつながりや評判なども大切で、地域に存在する園としてお認めいただくことが肝要である。特筆すべきこととして、欠員のまま年度をまたぎ、2022年度当初から一時保育の開設が難しくなるなどの弊害がある。各施設協力をして、人員確保の努力が必要である。

6) 子どもの育ちを「見える化」する目標は、ラーニングストーリーやポートフォリオなどに取り組み、家庭との相互関係を大切にし、情報の共有を行った。

8) の財政運用の充実を図る目標は、近年、事務セクションからの働きかけによって、各園長が予算と年度の運営を意識し、より合理的な運営を遵守できるようになってきた。今後も引きつづき一層努力したい。

最後に、計画的に剰余金の積み立てが進んでおり、来るべき人口減少時代を迎えるにあたって、大規模修繕などへの備えが徐々に整いつつある。ぽんぽここども園の継続借地の見通しがたち、耐震診断に続き耐震工事への計画を具体化する時期となった。

誠心誠意努力した教職員に衷心により感謝したい。

各施設報告

【豊中あけぼのこども園】 園長：三倉 敏浩

所在地：〒561-0803 豊中市城山町1丁目2番25号

連絡先：TEL/06-6863-7050 FAX/06-6863-1260 E-mail/toyonaka_akebono@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	80	9	10	15	15	15	16
定員充足率	102.5%	98.1%	100.0%	106.6%	106.6%	103.8%	97.3%

職員数：

4/1 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2	1		16	
契約職員	8	3		1	12	子育て支援員2名 無資格3名 学生アルバイト2名
計	21	5	1	1	28	

↓

3/31 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	1	1		15	栄養士1名 12月～産休・育休
契約職員	9	3		1	13	子育て支援員2名 無資格3名 学生アルバイト1名
計	22	4	1	1	28	

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振り返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
人材育成	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長・主幹保育教諭が交代、ベテラン保育者が移動、新任・転勤者5名という大きく変化する新体制を鑑み、スタッフ集団が基本に立ちかえり学び合える機会を構築していく。 ・キャリアパスの指標に基づき、各々が課題の克服に向けモチベーションアップが計れるよう、計画的に面談やサポートを行い育成に繋げていく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度当初は混乱が見られたが、新しいポジションの職員とその他の職員との力が時間を掛けて重なり合い、結果として建設的な職員集団へと成長するきっかけとなった。 ・職員面談を計画的（年4回）に実施。面談時期に合わせて職員のモチベーションアップを図った事が離職者0人の実績にも繋がった。
新生活様式に伴う保育	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、園生活にふさわしい感染予防対策に気を配り、安全を心がける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で取り組んだ行事の見直しから、新たな行事の本質を見極めていく事を通して、学びを深めていく機会にする。 ・コロナ禍で取り組めずに終わった日々のプログラムを検証し、アイデアと努力で子ども達の経験の補償に繋げる。 ・ICT化を進めることで得られる業務の省力化や、保護者への発信、会議の手軽さなどを視野にいれ、働き方改革と共に更に発展させていく。 <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内に罹患者がいた事は残念であったが、クラス閉鎖で対応を続けつつ、保護者の理解の上で通常保育を維持する事ができた。 ・2020年度に行事内容を見直した事がきっかけとなり、今年度は行事の中身だけではなく、ねらいやプロセスに価値観を置いた取り組みへと変えていく事ができた。 ・子どもの園生活を充実させていく取り組みはしっかりと担保し、実施時期や参加スタイル、動画配信の並行等、形を変えたり新たな要素を加えたりしながら経験を保証する事ができた。 ・リモート研修・会議や、配布プリントの電子化など、ICTの活用で業務の効率化・省略化に繋げる事ができた。
<p style="text-align: center;">保育内容の充実</p>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラス…縦割りクラス9年3クールの実績を検証。ラーニングストーリー・プロジェクトアプローチなどとセットで、より質の高い保育に向かえるよう話し合いの場を定期的に設ける。 ・乳児クラス…近年取り組んでいる公開保育・ビデオ検証等を通して乳児保育の更なる理解と園のコンセプトに基づく保育実践に取り組めるよう研修の場を位置付けていく。 ・豊中市教育保育環境ガイドラインを活用し生活環境の充実を図る。 <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育⇒4～5 クールを目標に実践を取り纏め、内外へ学びを発信する計画へ変更（中・長期計画へ） ラーニングストーリー・プロジェクトアプローチなどの幼児クラスの取り組みは、幼児クラスを中心に定期的に話し合う機会を設け、職員の理解を深める事ができた。 ・法人マネージャー（前園長）が、定期的に乳児クラスの様子をビデオ撮影、振り返りを実施。現状や課題を自らが理解した上で、乳児保育を深めていく事ができた。 ・環境の定期的な見直し・充実に取り組んだが、環境ガイドラインの活用が出来なかった為、今後は活用していくようにする。
<p style="text-align: center;">働き方改革</p>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、無駄を省きより専門性が高められ、働くことに意欲が持てる職場作りに向け、スタッフ自ら知恵を出し合い改革を進めていく。 ・ぶんぶんと合同保育を様々な視点で広げていき、スタッフ間の働き方改革に繋げていく。

	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスは契約職員を配置、幼児クラスは2人担任制とする事で余力を生み出し、事務時間や打ち合わせ時間の確保、保育準備や記録の整備など、持ち帰り業務を削減しながら質の向上にも努めた。 ・あけぼのぶんぶんと土曜日共同保育を更に促進。コロナの影響もあったが土曜日の公休取得サイクルを早める事に成功する。
子育て支援	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、一時保育を止め、よりニーズの高い子育て支援を予定していたがコロナ禍で上手く進まず。今年度はコロナ禍の中でも工夫をし地域の安心基地としての役割を担っていく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で実施できない時期があったのは残念だったが、前一時保育室であった『あひる一む』を使用し『ころころ』『よちよち』『がーがー』といった年齢に合わせた新しい子育て支援を実施する事ができた。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
<p>[目標・課題]</p> <p>職員処遇 連携施設課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> *特定徴収金収入を活用して、職員処遇改善の推進 *正職員の固定勤務への人材確保 *ぶんぶんと連携施設へ向けた職員間の交流計画
<p>[設備]</p> <p>園舎改築・修繕 園庭環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> *ぶんぶんと連携施設実施に向け、中期的計画で園舎改築プロジェクトに取り組む *20年後の大規模修繕に向け、上記課題と共に計画的な積み立てをしていく。 *園庭改革5年プロジェクト（現4年目）により段階的に植樹・遊具を工夫していく。

本年度に計画していた施設・設備整備、大きな支出項目の実績：

項目	計画	実績
・ウッドデッキの塗装	500,000円	197,684円
・園庭遊具・樹木植栽	500,000円	759,220円
・エアコンクリーニング	300,000円	250,250円
・パソコン2台	200,000円	238,700円
・ビデオカメラ	200,000円	購入せず

その他特記事項・報告事項

--

【あけぼの風の森保育園】 園長：越智 有貴子

所在地：〒560-0011 豊中市上野西4丁目5番62号

連絡先：TEL/06-6857-2003 FAX/06-6857-2086 E-mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	58	6	26	26			
定員充足率	90	90	90	90			

職員数：

4/1 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	14	2			16	
契約職員	8	1	1		10	
計	22	3	1		26	

↓

3/31 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2			15	
契約職員	8	1	1		10	看護師派遣1名(産休代替)
計	17	3	1		25	

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振り返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
保育の充実	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を考えた上での日常保育の在り方や行事の捉え方等を見直す。今回を良い機会としてとらえ、保護者や職員にとっても良い方向へ見直し取り組んでいきたい。 ・新人職員も多いことから、担当制保育の理解と実践方法を振り返り学び会える機会を多く持つ。 ・食育計画の一つとして子どもだけでなく保護者へ有機食材の良さを伝えていく企画を充実させる。(味噌づくり)
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人職員が多いことから定期的に話合いの場を設けることを各々で意識することができた。園内研修においても尚子先生のビデオによる研修や環境ガイドラインを使用しての振り返りを行うことで自らの気づきが増え実践に結びつけることができた。
人材育成	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタメンティ制度の活用方法を見直し、新人職員の育成を目指す。 ・保育におけるリスクマネジメントの重要性を知り、自らを守るためにも危機管理の意識を高める。(研修強化) ・個々の課題を共に明確にしながら、積極的に学び合える場を設けたり、研修会等に参加できたりする機会を設ける。

	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が行事等で来園できる機会が少なくなり親睦を深める機会が少なくなる。子どもの園での様子や取り組みを伝え、保護者の悩みを共有する為、動画配信を活用しながら安心と信頼が得られるように取り組む。 ・例年以上に個人懇談会実施の呼びかけ回数を増やす。利用する新入児の保護者が多くおられた。
働き方の改善	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間の確保が定着しつつある。今後は45分確保を目指し、職員が協力し合って取得できるよう努力したい。 ・職務リーダーを明確にすることで個々の業務内容を互いに把握し合えるようになってきたが、勤務時間内にリーダーの仕事が終えるようにしていきたい。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の行事を平日に行える計画を立てたものの、実行できずに見送った行事も多かった。 ・職務リーダーの業務内容が明確になり、職員間で周知することでリーダーの仕事も勤務時間内に設定できるなど、積極的な協力を得ながら改善していくことができた。

本年度に計画していた施設・設備整備、大きな支出項目の実績：

項目	計画	実績
・電話通話本体買替	704,600 円	704,600 円
・テラス階段下庇取付け	280,800 円	次年度へ
・園庭の砂場設置	250,000 円	244,761 円

その他特記事項・報告事項

<p>コロナ禍での保育において、保護者の不安に耳を傾け定期的にアンケートも実施する。園内に入室できない事でどんな保育室でどんな風に我が子が過ごしているのか…という不安が多いことも分かる。行事だけでなく日頃の保育場面を保育だよりとして動画配信することで保護者の不安も軽減され保護者からの支援も多くもらえるようになる。その時に必要とされるニーズをキャッチしながら柔軟に対応できた。</p>
--

【あけぼのぶんぶん】 園長：小寺山 里美

所在地：〒561-0874 豊中市長興寺南2-8-16

連絡先：TEL/06-6867-70711 FAX/06-6867-0712 E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	45	9	18	18	-	-	-
定員充足率	99%	98%	99%	100%			

職員数：

4/1 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	14	2		1	17	1名育児休業中
契約職員	8	1	1		10	
計	22	3	1	1	27	

↓

3/31 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2		1	16	2名育児休業中
契約職員	8	1	1		10	
計	21	3	1	1	26	

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振り返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
職員の質の向上	<p>*自園で学ぶ事が出来ない乳児から幼児の育ちの連続性を知る為、幼児がいる園での保育実践や打ち合わせなどに参加し、保育の幅を広げる。</p> <p>*外部研修だけに留まらず、週の職員会議も園内研修の場として有意義に活用する事で学ぶ姿勢を持つ。</p> <p>*昨年度に引き続き自身での研究課題を持ち、自ら考える力や保育を語る力を養う。</p> <p>【報告】</p> <p>*近隣園である豊中あけぼのこども園に於いて、自園では学べない幼児の育ちを学ぶ為定期的に訪問する計画をしていたが、日々の保育に追われ難しいところもあった。しかし、土曜日の共同保育を通して幼児と関わる事が出来た為、どのような事に興味関心を持っているかを客観的に見る事を意識する事で育ちの理解に繋げていった。</p> <p>*安家尚子先生による月1回の保育観察でご意見を頂き、当たり前となっていた物的や人的環境の見直しが図れ、それにより保育の幅も広がった。また、観察後は速やかにクラス間で振り返りを行い、それをもとに実行する事で、思考力や観察力が養われ質の向上となった。</p>

	<p>*週の職員会議がおおむね報告の場となっていたが、疑問や課題として感じた事があれば議案として挙げ、話し合う事で有意義な場となりつつある。まだまだ議案が挙がる事が少ないので、職員同士で学び合う事も質の向上に繋がるという意識の強化を図りたい。</p>
子育て支援	<p>*開設して一年を迎えた一時保育事業は、利用希望が多い事から定員を増加し利用しやすくする。</p> <p>*コロナ禍で育児不安を抱える地域の保護者の為に、園の支援活動が交流の場となり、又専門性を生かした相談窓口として精神的援助も行う。</p>
	<p>【報告】</p> <p>*一時保育の定員増を行い、利用者にとってはニーズの高い事業となった。</p> <p>*コロナ禍で行き場がないという意見が多く、園で行っている事業に参加し、人と関わりが持て相談に乗ってもらう事で、心の安定となっている方が多くいた。親や子どもを守る立場として子育て支援は必要不可欠な事業となっていた。</p>
働き方改革	<p>【計画】</p> <p>*豊中あけぼのこども園との土曜日合同保育の体制の見直しを図り、職員の休みが計画的に取得出来るようにする。</p> <p>*書類作成や業務が勤務時間内に終わっていない現状から、内容の見直しを図る。しかし単に見直しが省略ではなく、職員の質や保育の質が損なわれないように考えていく。</p>
	<p>【報告】</p> <p>*豊中あけぼのこども園と行っている朝夕の土曜日共同保育を、終日共同で行う事で出勤人数の削減となり、職員の休みが計画的に取得出来るようになった。</p> <p>*働き方改革リーダーやチーフと共に思案しながら、内容が重複している書類の見直しや、また、週4日事務処理時間の確保を行った事で、持ち帰りの仕事がほぼなくなった。しかし、確保出来た時間が大幅に書類の時間に費やしている為、クラス間で子どもの育ちの共有や環境の見直し等の時間にもなるよう、各々が時間の使い方を考えていければ、園全体の保育が一層良いものへとっていく。</p>

本年度に計画していた施設・設備整備、大きな支出項目の実績：

項目	計画	実績
*ワイアレス	160,000 円	160,000 円
*空調内部清掃	200,000 円	196,196 円

【認定こども園あけぼのドロップス】 園長：藤田 勲

所在地：〒560-0085 豊中市上新田4丁目18番3号

連絡先：TEL/06-6155-1101 FAX/06-6155-1102 E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	60	6	10	11	11	11	11
定員充足率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

職員数：

4/1 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2		1	16	
契約職員	12	1	1		14	保育補助3
計	25	3	1	1	30	

↓

3/31 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2		1	16	
契約職員	12	1	1		14	保育補助3
計	25	3	1	1	30	

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振り返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
行事の見直し	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ禍という事で様々な行事の見直しを行う。今年度も見直す中で大切にしたいことやねらいとは何かという事を昨年度の経験をもとに再構築していきたい。 ・取り組みや過程や姿を“見える化”していき普段の生活の中での学び（アクティブラーニング）の重要性を共有できるようにしていく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つひとつの行事のねらいや取り組みの意図等を相談する機会を設ける中でねらいと取り組みの調整を行う。また、取り組みのプロセスや子どもの育ちを、動画や書面で保護者に共有する中で理解に繋がっていた。
保育内容の見直し・充実	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼのの理念や大切にしている事、また“子どもをみる”から始まる保育、“ねらいとはなに？”という事を園内研修等で学び合い、基盤となる部分の再認識を重点的に行う。 ・D-WATCH（園内保育見学）を継続していく。今年度は、主に“丁寧な乳児保育”という事をメインに進めていく中で共通理解を深めると共に、“乳児の発達を目安（生活面）”の見直しを行う。また、各

	<p>クラス間での交流の機会を意図的に設けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が地域探検を行う中で定着化してきている。園内の保育内容への繋がりや得た経験を保育環境に取り入れるなど可能性の幅を広げていく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で予定通りの園内研修の機会が本設けられなかった。 ・幼児クラスは中橋先生を招いてのD-WATCH（園内保育見学）で縦割りの書類の相談、遊びの広がりについて学びの機会を設け、乳児クラスは安家尚子先生による保育観察会を通し、丁寧な保育と保育者の関わりや配慮について考えることができた。 ・コロナ禍に置いて、予定通りにはいかなかったが子ども達共に行った地域探検の様子を掲示板に掲示するなどをして関わりを持つことができた。
<p>保育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児がメインで遊ぶ園庭の可能性が広がるように、限りあるスペースが豊かに使用できるように、遊具の増築を行う。体を思い切り動かしたり、ゆっくり制作を行ったりと環境を整えていく。 ・あそび場の選択がたくさんできるように屋上での遊びという視点で環境を考え今まで以上に活用できるようにプロジェクトチームを作り模索していく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の増築については、現在業者と相談し国の補助金を使用し施工できるように計画中。 ・屋上に芝を敷きミニサッカーができるスペースや、休息スペースを設けるなど現在進行形で限りあるスペースを有効に活用できるように工夫している。
<p>働き方の見直し</p>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度法人で取り組んだ“働き方改革”により様々な事が見直され改善されていく。“あたり前”から脱却しポジティブに進める事ができるように職務リーダーを中心に見直していきたい。また、コロナ禍でICTを導入し、多くの可能性が広がる。事務的な作業を中心に見直し、ノンコンタクトの時間の保証や保育の質の為に必要な時間を捻出できるようにする。また勤務時間内でそれが達成することが出来ることが当たり前となるように模索する。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・45分休憩の確保や、勤務時間内で業務が終えられるようになる。ノンコンタクト時間を幼児クラスは事務処理に活用、乳児クラスは担任間でのミーティング時間に活用した。
<p>職員の主体性の向上</p>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務リーダーを中心にしたプロジェクトリーダーを発足し、それぞれが核となり進めていく中で、個々の個性や想いを発揮できるよう

	にしていく。
	【報告】 ・各プロジェクトリーダーが中心となり、意見の収集や相談等を行う中で活発に活動でき成果が得られていた。今年度は短時間の契約の先生もアンケート等で参画するスタイルに変更してみた所沢山のアイデアや意見が得られたので来年度も継続したい。

中長期的な運営課題に対する進捗・達成状況

目標・課題	具体的な取り組み計画
【目標・課題】 働きやすい環境の実現	【計画】 ・書類の見直し（出勤簿などアナログだったもののシステム化、保育の記録の見直し等）、ICTの導入。
	【報告】 ・見直しを行い改善されたものもあったが、改善の余地あり。今後も他園の様子を共有し、業務の効率化に繋げていきたい。
【設備】 園舎修繕・園庭環境	【計画】 ・築20年目を迎えることから、修繕箇所が急遽出てくる可能性があるため計画的に積み立てをしていく。（屋根の修繕） ・昨年度から園庭遊具の改善を行っている。限りある園庭のスペースを有効に活用できるようにプロジェクトを組み検討していく。（上の空間を有効に使用するイメージ）
	【報告】 ・今後も継続し大規模修繕におき計画的に積み立てが出来るようにしていく。 ・園庭改修では、国からの補助金が得られない場合、長期的な計画を立て着工していきたいので計画的な予算化、完成のビジョンを明確にして取り組みたい

本年度に計画していた施設・設備整備、大きな支出項目の実績：

項目	計画	実績
・スチームコンベクションオープン、ガスコンロ	1,430,000 円	1,430,000 円
・園庭遊具 ウッドデッキ	740,000 円	741,180 円
・エアコンクリーニング	240,000 円	240,000 円
・電子ピアノ	97,500 円	97,500 円

その他特記事項・報告事項

*

【あけぼのぼんぽこども園】 園長：安家 比呂志

所在地：〒560-0005 豊中市西緑丘2丁目4-1

連絡先：TEL/06-6857-0003 FAX/06-6857-0066 E-mail/akebono_ponpoko@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	150	18	20	24	29	29	30
定員充足率	111%	101%	105%	104%	106%	106%	102%

職員数：

4/1 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	24	2	0	1	27	
契約職員	8	3	1	0	12	(その他) シルバー人材 お昼寝4名・朝1名・掃除1名
計	32	5	1	1	39	

↓

3/31 配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	24	2	0	1	27	
契約職員	8	3	1	0	12	(その他) シルバー人材 お昼寝4名・朝1名・掃除1名
計	32	5	1	1	39	

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振り返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
① 保育内容とシステムの充実	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定徴収金の徴収に伴い、長時間保育担当（全体フリー兼任）2名を増員し、幼児クラス担当の教育時間（光の時間）以外の時間にノンコンタクトタイムを保证する。 ・今年度も縦割りクラス担当と横割りクラス担当を切り分け、新たに5歳児担当（全体フリー兼任）を設定し、就学前の5歳児の保育を充実させていくと共に、縦割りクラスでの生活を確立させていく。 <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休に入る職員がいたり、年度途中で支援児が増えたりするが職員の確保がうまくいかず、ノンコンタクトタイムの充実や保証に至らなかった。 ・5歳児担当の制定により、保育内容の充実を図ることができた。縦割りクラスと兼任していた時と比べ保育者の負担軽減もなった。
②生活・行事の見直し 伝え方の工夫	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナにより様々な生活様式、保育、行事の見直し、試行錯誤を繰り返しながらの生活であった。その中でも保護者に対してICTを活用しネット配信で子どもたちの育ちを共有することが出来、今後も子供の育ちを「みえるか」を大切に、可能性を広げたい。

	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活、保育、行事の在り方を改めて見直すことで、意図性や必要性など保育者間の共通理解に繋がった。又、ドキュメンテーションや動画配信を随時行うことで、子どもの育ちやクラスの取り組みを視覚的に伝えることができた。
② 近隣住民との繋がり	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの送迎時、提携しているスギ薬局の駐車場が満杯になり、近隣の方からの苦情があった。送り迎えは時間を短縮するよう、保護者に協力をしてもらうよう、啓もうしていく。 園長・主任を中心として近隣住民とのコミュニケーションを取り、園へ対しての要望や意見を聞く機会を定期的を作り、地域と共に開かれた園との関係を作っていく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者への速やかな送迎の依頼を定期的に発信することで、協力を得ることができた。 運動会等の取り組みで放送や音楽を使用する事が多くなる時期には、園長、主幹が前もって挨拶に伺いコミュニケーションを図った。しかし、実際に要望や意見を聞く機会を設けることは難しかった。
④チームワークと人材育成	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各プロジェクトチームの昨年の実績、反省を踏まえ、新たな目標・課題を持ち、年次に関係なく一人一人が自分の意見を語り合える参加型のミーティングを引き続き行い、保育の質の向上につなげていきたい。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームの一人ひとりが自分の意見をしっかりと持ち、共有や話し合いを持つことができていた。しかし、時間の捻出に課題が残る。働き方改革の観点でも検討していきたい。
⑤防災・危機管理	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントリーダー・リスクマネジメント会議が確立している中で、防災の観点も含めた危機管理体制の構築を進める。 ヒヤリハットの新様式の見直し作業を行いながら、リーダーを中心とした日々の保育・生活の中での危機管理の意識の向上、職員全体へのフィードバックのシステムの構築を図る
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職員が責任を持ち危機管理に努めることが出来るようにエリア担当を振り分ける。年間4回のエリアチェックの徹底により、安全な環境を継続することに努めることができた。 危機管理では各クラスのセカンドの職員がリスクマネジメント会議に参加し意見を出し合い、対策等をクラスにフィードバックし再発を防ぐことができていた。
⑥福祉施設としての地域との繋がり強化	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主幹保育士、地域担当保育士を中心に、地域へ開かれた形で相談窓口や仲介窓口になるように努める。 民生委員と共に地域の0・1歳児親子対象の『ひよこちゃん少路』や、地域の2・3歳児対象の『ぽんぽこ広場』などに加え、園が拠点となり『あそび場開放』や『子育てカフェ』を企画し、子育て支

	<p>援担当と主幹保育教諭を中心に子育て支援事業の充実を図る</p> <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、新型コロナウイルス感染対策で開催自体できないことが多かった。内容を制限したり、時間短縮をしたりする中であるが開催をするとたくさんの親子が参加している様子から需要を改めて感じる。コロナ禍における交流という視点で検討していきたい。
⑦働き方改革	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は働き方改革リーダーを中心に見直しを行い、ドリンク販売冷蔵庫を設置した。今後も更なる改革を進めていきたい。 ・『P-SHARE』で、『モノ・ヒト・コト』に観点を置いた改革を引き続き行い、自園で取り組みを分析するとともに、引き続き学びの場への参加を促していく。
	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他施設の報告等を参考にしながら、自園での働き方改革の方向性を職員で相談する時間を設ける。今後はリーダーのみではなく園全体でより良い取り組みになるように検討していきたい。 ・園庭改革において、リーダーが中心となり講師を招いての園内研修を行い、学びを深めるとともに今後のヒントを多く得られた。

中長期的な運営課題に対する進捗・達成状況

目標・課題	具体的な取り組み計画
<p>〔目標・課題〕</p> <p>園庭環境の充実と分析、中期的な計画の設立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度計画で植樹・築山作成等の充実を図り、園庭環境が良くなってきている。今後もさらに、子どもたちにとってより良い園庭環境を充実させていく。
<p>〔設備〕</p> <p>空調設備改修工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室・空調設備の2期回収工事の実施。(5月) ・配管工事も同様、3年計画で実施。

本年度に計画していた施設・設備整備、大きな支出項目の実績：

項目	計画	実績
*スチームコンベクション	1,380,000 円	1,313,340 円
*空調設備工事 (3年計画・総額 12,700,000 円)	年/4,300,000 円	年/4,043,860 円
*空調設備追加工事 (厨房スポットクーラー)	870,000 円	951,936 円
*ランケーブル設置	620,000 円	611,600 円
*冷蔵庫 (職員室)	160,000 円	実績なし

その他特記事項・報告事項

<p>*</p>
